

令和6年度 保育所自己評価

園名 吹田市立十三保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

安心・安全な保育
身体づくり

評価結果の表示方法

- A…十分達成されている。 B…達成されている。 C…取り組まれているが、成果が十分でない
D…取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	一人ひとりの姿を大切に職員が共通認識を持ち保育を進めてきた。
子どもの発達援助	A	個々の発達や健康状態に合わせて手立てを考え、職員間で共有し取り組んできた。
保護者との連携	A	クラス懇談会や個人懇談を持つと共に、随時、保護者の悩みや思いに寄り添い対話することを大切にした。
地域との連携	A	地域担当を中心に地域の子育て支援センターとして園全体で地域支援事業を行った。
運営・管理、団会的責任	A	園全体で職員間のコミュニケーションを大切にし運営した。
職員の資質向上	A	園内外の研修に参加し、全職員で共有し保育の向上を図った。
安心・安全	A	日々の点検、毎月の点検を行いヒヤリハットや事故事案を共有し安心・安全な保育に努めた。

今年度の評価

安心・安全な保育

- ・事故・ヒヤリハット事案の情報を職員間で共有し、再発防止に努めた。
- ・人権に関する学習を全職員で行い、安心・安全な保育に努めた。

来年度の目標

安心・安全な保育
身体づくり